



加納高だよめ

No.182 令和5年7月3日
 発行 岐阜県立加納高等学校
 PTA会長 中野 弓恵
 校長 高橋 宗彦
 企画・編集 総務 運営部



PTA会長
中野 弓恵

「PTA会員の皆様へ」

令和5年度PTA会長を務めさせていただきます中野弓恵と申します。どうぞよろしくお願い致します。

近年、「PTAとは何か？」話題になる事もありますが、総会資料に、加納高校のPTA規約の記載があります。第2条には「家庭と学校との関係を、緊密にし、保護者と先生とで生徒の福祉を増進し、会員の理解を深めていきましょう」と、記されています。「福祉」とは、「しあわせ」や「ゆたかさ」を意味する言葉です。加納高校に通う、「生徒のみんなのしあわせ」や、「学校生活がゆたかに送れる」ために、先生と保護者の皆さんと、生徒の為に、社会的援助を提供することです。PTAを通して学校の環境を整備し「生徒が主役となり輝ける学生生活」を築く為、この会をご支援して頂けたらと思います。

高校生活の3年間は、進路や先々の事で悩む時期です。公共の場や、他人には気遣いができるのに、親しい間柄になるとついつい言いたい放題や余計な一言を言うてしまうことはありませんか？関係が長く、深い間柄であるこそ、本当の意味で、気遣いが求められることとなります。生徒の皆さんの中には、すでに18歳の成人を迎えているご家庭もあるかと思えます。「親しき中にも礼儀あり」居心地の良さ、ここちよい環境は、言葉や雰囲気、よりよい関係が作られます。普段の声のかけ方から穏やかに寄り添い、皆が互いを認めて協力しあえる温かい生活を心掛けていきましょう。

CONTENS

- PTA会長あいさつ
- PTA執行部紹介
- 3年普通科芸術鑑賞
- 3年音楽科海外研修旅行
- 2年普通科修学旅行
- 校外研修
- 大学見学会
- 音楽科、美術科校外研修
- 球技大会



PTA 総会

4月28日(金)に令和5年度PTA定期総会が開催され、平日にもかかわらず多くの保護者の方に出席していただきました。

総会前半では、令和4年度の事業報告・会計報告、令和5年度役員選出の後には、令和5年度の事業計画・予算について審議されました。

総会後は、学年研修会(普通科2・3年)・後援会総会(音楽科・美術科)・学級フォーラム(全学年)が行われました。

圧巻の芸術鑑賞会 5/10水

3年6組 葛西 一花

客席が舞台装置の一部ようになっていて会場に入った瞬間からCATSの世界に引き込まれました。装置の中にはmanacaや金のシャチホコなど名古屋ならではのものもあって始まる前からとてもわくわくして楽しかったです。キャストの皆さんのまるで本物の猫のような拘られた動きやしなやかでもメリハリのついた一糸乱れぬダンス、客席降りなどもあって本当に圧倒されました。どのシーンのどの猫たちも表情や他の猫との関わり方でそれぞれに個性があるのが伝わってきました。会場全体を使ってお芝居をしているので観る席によってまた新しい発見もありそうだなと感じました。すごく貴重な経験でした。また是非観に行きたいです。

海外研修旅行

音楽科 5/16水～23水

3年音楽科 塘本 莉子

私たちは5月にオーストリアのウィーンとザルツブルクに行きました。オーストリアでは古いものに価値があると考えられていて昔の建造物を保存する法律があるそうです。新しいものに惹かれやすい私にとってウィーンの街並みはとても新鮮でした。ウィーンは音楽の都と呼ばれるだけあって、国立歌劇場でのオペラ、楽友協会でのオーケストラは感動的でした。さらに、モーツァルトの出生地であるザルツブルクでは、彼の生涯や曲を深く知ることができました。モーツァルトの曲をこれからどう演奏していくか考えながらその曲が生まれた地域を歩けたことはとても幸せで貴重な体験でした。この旅行で学んだ多くのことを活かし、素晴らしい演奏家になれるよう日々努力していきます。



修学旅行

5/23水～26木

2年7組 安田 有里

長崎平和公園や原爆資料館に行き、被爆体験講話を聞き、原爆についてとても深く知ることができた。爆心地付近に行ってみることでわからない、被爆体験講話とかけ離れた現在の平和な静けさが、数々の平和祈念碑を通して伝わってきた。長崎の土地から、核兵器廃絶と世界恒久平和の実現に力を尽くし続ける人々の思いを感じた。

グラバー園や門司港レトロ地区では、昔の趣のある建物が美しく、昔の雰囲気や風景とともに残っていることが素晴らしかった。グラバー園の庭園から見える眺めや長崎の町並みが素敵だった。大浦天主堂では、日本のキリスト教の歴史や長崎での苦難を知ることができた。班別研修を通して、長崎における外国とのつながりや影響力の大きさなど、土地による特徴を実感した。

遊覧船で九十九島を見て周ったことも良かった。たくさんの島の岩が長年の風雨に浸食されて、不思議な形になっていたことが印象に残った。そのような島々の位置や地形によってできた形から、島の名前が付けられていたことがおもしろいと感じた。

ハウステンボスは建物や町並み、花園などがとても綺麗だった。アトラクションや買い物、写真撮影などをしながら園内をまわり、楽しい時間を過ごした。

戦争と平和について考え、長崎・福岡の歴史を学ぶ、とても良い経験になった。



校外研修 5/26金

京都にて……………3年美術科 山本 愛

三十三間堂の中に入ると、外とは空気が一変し、思わず背筋が伸びてしまうような緊張感のある空間だった。事前の調べ学習で知っていた通り、いざ本物を目の前で見ると、その大きさ、数の多さ、ひとつひとつの像の作りの細かさに圧倒された。自分と同じくらいの背の像を1000体も当時の技術で作り上げることだけでもとても感動したが、さらに42本もの手を丁寧に作り上げてあるのを見て鳥肌が立った。同時に当時の人々が、後白河上皇の快癒を心から願っていたのだということも伝わった。私は以前、小学校の時の京都研修で見て以来、千手観音坐像を見たのは初めてだったが、いつ見ても美しさが変わっていなかった。(小学生の時の研修で一番思い出に残っているのが、この三十三間堂だったので、当時の私もとても感動したのだと思う)そして、真ん中に堂々と座っている約7mもある千手観音坐像に手を合わせた。見上げるほどに大きい千手観音坐像の前に立った時は、実際に目の前にするとこんなにも美しいのだと感動し目を奪われた。最後に合格祈願のお守りとおみくじを引いて、とてもいい研修の思い出にすることができた。



高山にて……………1年8組 藤平 あかり

江戸時代の御役所と呼ばれる高山陣屋内を見学して、書院造りの部屋や役宅の庭園にすごく手が加えられていて、現代の建物の造りと違う雰囲気味が味わえて感動しました。特に、年貢米が何十個も積んである所や地役人の具足があったりしたため昔の人々の苦勞がとても伝わってきました。

高山の町並みでは全て木造建築になっていて、自然豊かで昔の歴史を知ることができ、素晴らしかったです。班のみんなと楽しく交流しながら巡ることができたため、前よりもみんなとの絆が深まったと感じられて、とても幸せな時間を過ごせたと思います。これからも仲間と高めあうことを大切に、日々頑張ります。



大学見学会 6/9金

PTA副会長 堀江 弘美

今年度の大学見学会では、静岡大学浜松キャンパスと、静岡文化芸術大学を訪問しました。静岡大学では、工学部の説明を聞き、学食や図書館を見学してきました。日常の学生たちの様子、学食での様子を見ながら、子どもたちが大学生になったときの姿を想像していました。

静岡文化芸術大学では、学校の説明、構内見学、学生さんのプレゼンを聞きました。特に学生さんのプレゼンのご自身の思いをはっきりと言葉で表現され、感動しました。

大学見学を通して感じたことは、大学案内の冊子で見える印象と、実際に訪問し、肌で感じる印象は異なるということです。高校生のみなさんはこれから進路を選択して行くと思うのですが、色々な大学、学部を調べ、実際に行ってほしいと思います。そして、自分自身が何を求めているのか何度も自問自答し、進路を決めてほしいと思います。

最後になりますが、保護者のみなさま、大学での学びは日々変化しています。親子で情報を取得し、将来についてお子さんと話をする機会を作って頂きたいと思います。子どもたちは最高の個性を持っています。その個性を信じ応援してあげましょう。



校外研修 5/26金

音楽科 大阪音楽大学 2年音楽科 川部 夏希

今回の校外研修では、ためになることを多く得られました。ミュージカルコースの体験では、普段舞台上の上でしか見たことのない役者達がどんな練習の末にステージに立っているのかを知りました。簡単に分けたら歌、演技、ダンスの3つだけかもしれないけど、発声の一音一音、指の一本一本まで極めていくというのは本当にすごいと思いました。今回、研修を受けたことで自分が何を大切にしたいかわかったし、音大はそれぞれ特色がとても現れるため、研修を受けたことで自分のこれから先をどうしたいかのビジョンが具体化できたと感じました。自分が進学する上で参考にしたいと思いました。



美術科 愛知県立芸術大学・藤井達吉美術館 2年美術科 川崎 愛心

大学の感想を一言でいうと、言葉にできない！です。日本画のアトリエを見て回っているとき、アトリエの中まで入ることができ、制作の様子を近くで見ることができました。作品の隅から隅まですごく美しく、ずっと見ていたいなと思いました。私たちが見られるものは完成した作品が多いので、制作している場面を見て、いつも私たちが見ている作品はこんなにも繊細で丁寧な仕事から成り立っているものなんだと実感しました。

藤井達吉美術館はリニューアルしたばかりで建物がとてもきれいでした。鑑賞の時間が1時間しかなく、もう少し長く見ていたいなとは思いましたが、1時間の中でも得たものはありました。鳥の毛を使用したり、絵の具で描くことだけがすべてではないんだなと思いました。碧南市にいく機会はなかなかないので、今回見てきたこと、感じたことを大切に、これからの活動に活かしていきたいです。



球技大会 5/16金

3年3組 後藤 慎之介

即席のチームでどれだけ勝ち上がれるか期待と不安の中で始まった。みんなこの貴重なイベントを楽しむために長身を揃えたチーム、体育会系ばかりを集めたチーム、お揃いのアイテムを身に着けて写真を撮りまくる女子の皆さん。高校で3回目の球技大会だがこの雰囲気がとても楽しい。蓋をあけてみれば意外とバレー部のいないチームが強かったりもあるあるなのだ。バレー部の僕からしたらご勘弁願いたいものである。勝負の結果はさておき、声を出し動き回って汗をかいてあっという間の時間だった。昨今、戦争・地震・感染症等もある中、みんな笑顔でスポーツができることに感謝し、体験したことで学べたことをこれからの生活の糧として活かしていくようにしたい。

